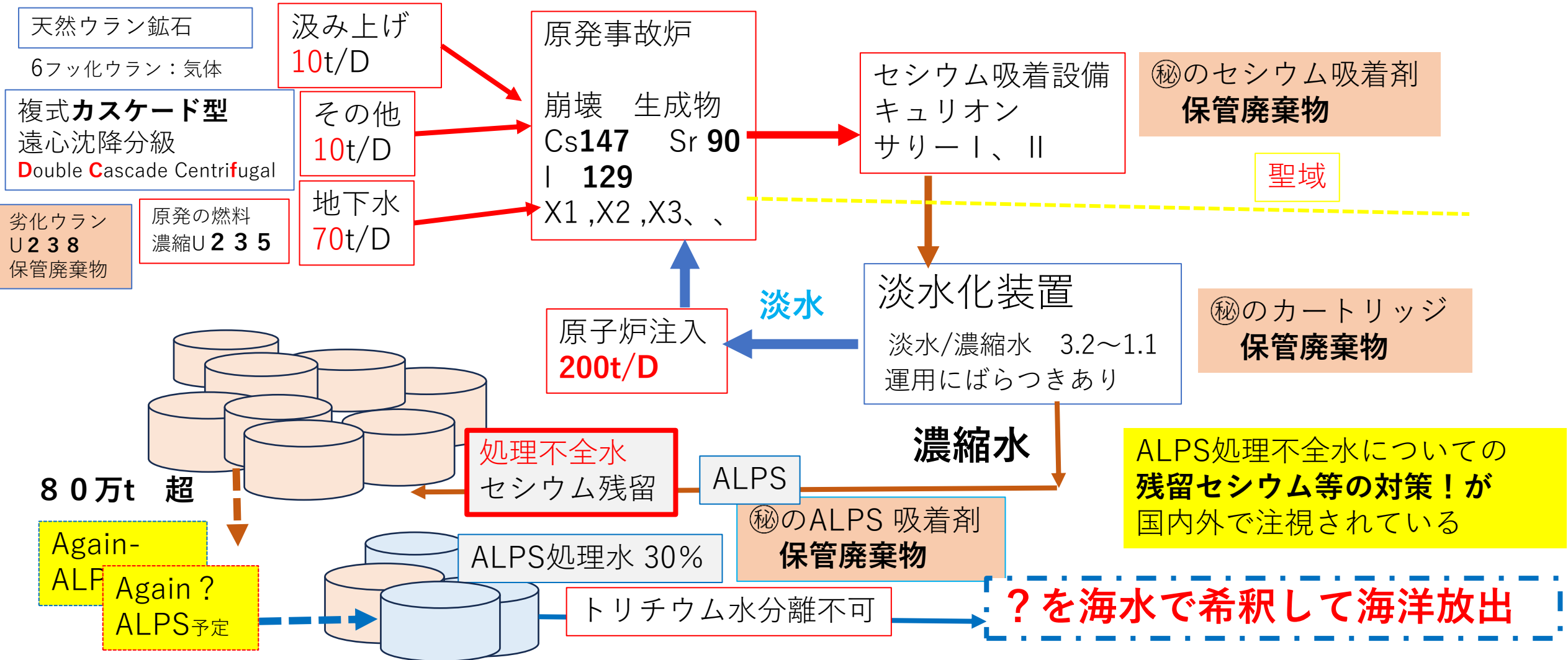


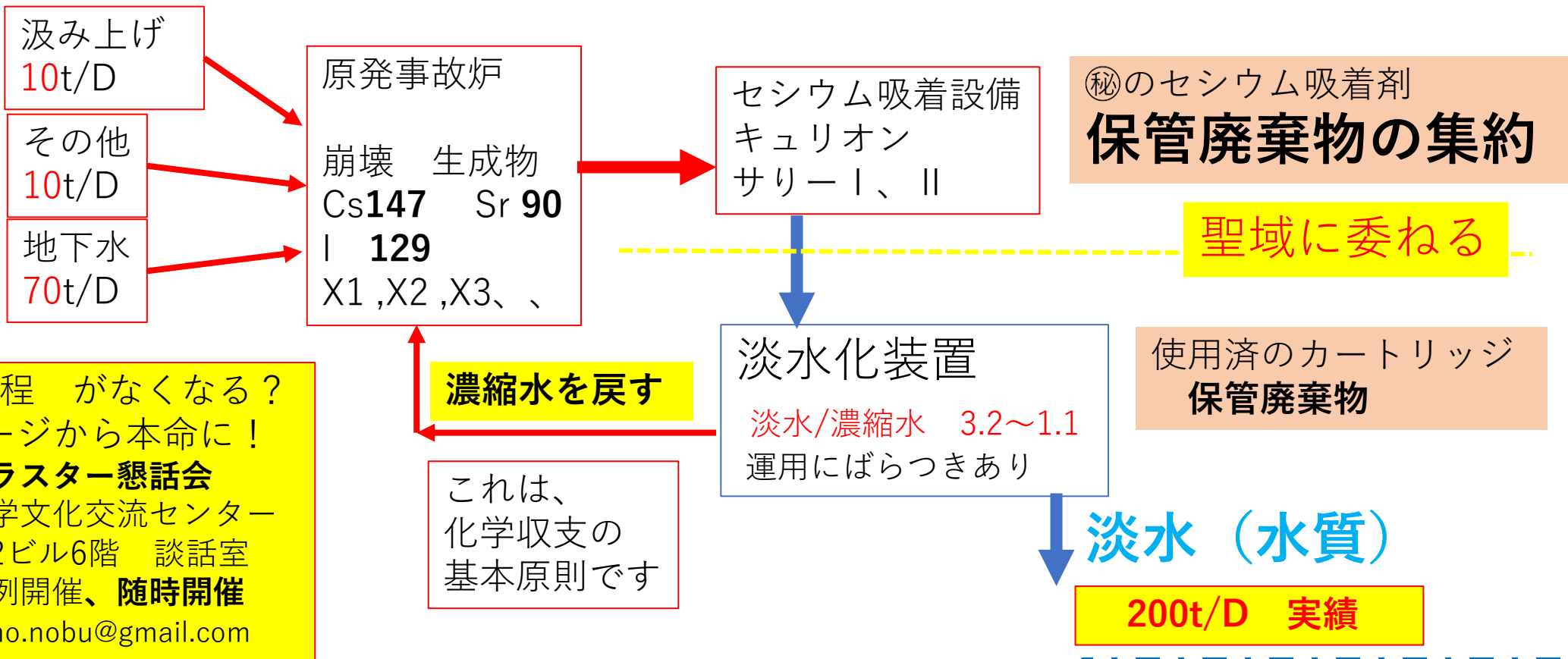
公開されたアルプス処理フローの化学収支について 240618 N.furuno

アルプス処理水・海洋放出・2024 で検索 ALPS処理水海洋放出の状況について [000469453.pdf \(nra.go.jp\)](https://www.nra.go.jp/000469453.pdf) 15ページ図の引用

要約：毎日90t/Dの流入水があってALPS処理水を採取保管し続けて、100万t越え、どうするか！



すぐできる策 淡水化処理で得られる淡水を、既存の海水希釈処理装置から海洋放出する

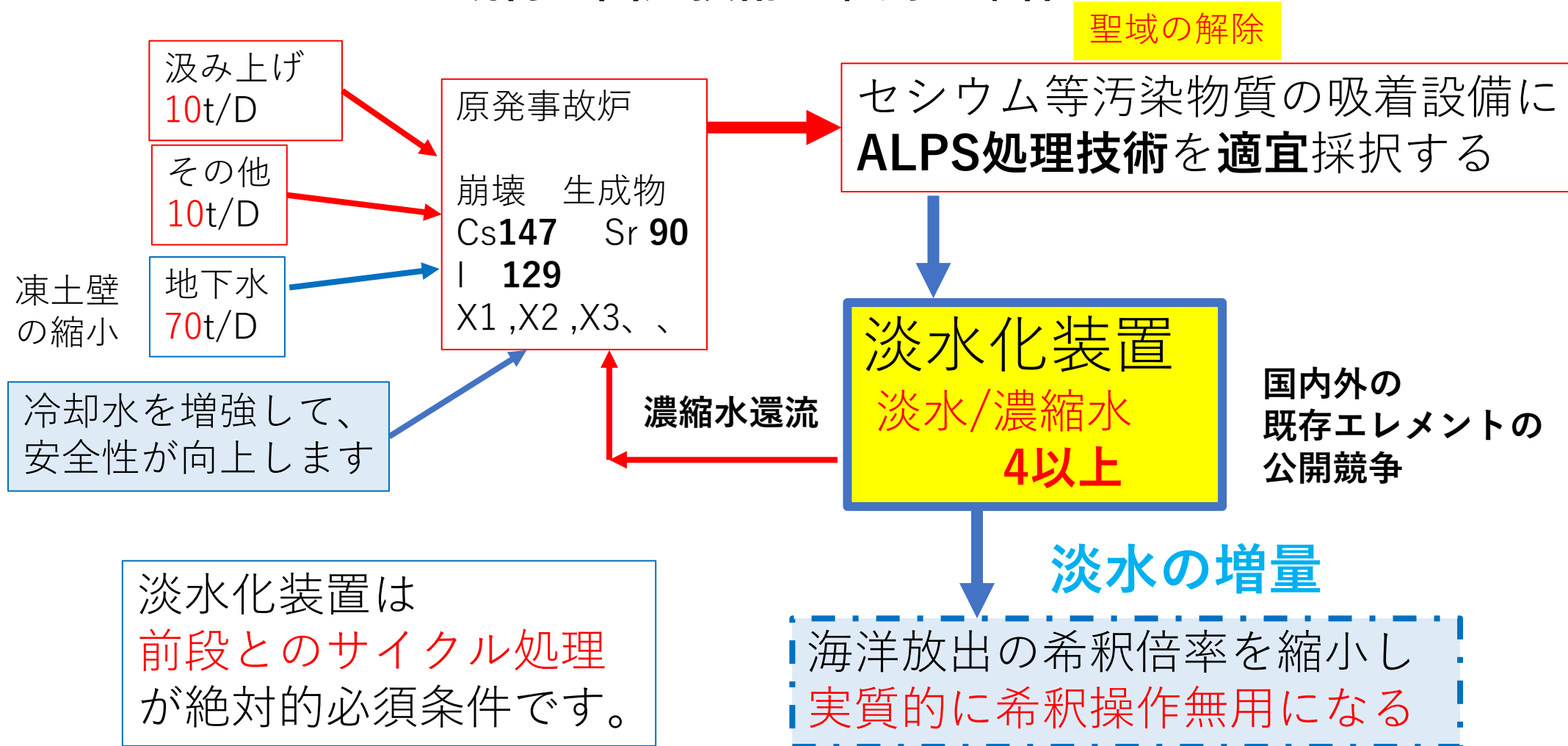


ALPS処理工程 なくなる？
アドバンテージから本命に！
トリチウム水クラスター懇話会
於 大阪公立大学文化交流センター
大阪駅前第2ビル6階 談話室
毎月半ばの定例開催、**随時開催**
申し込み furuno.nobu@gmail.com

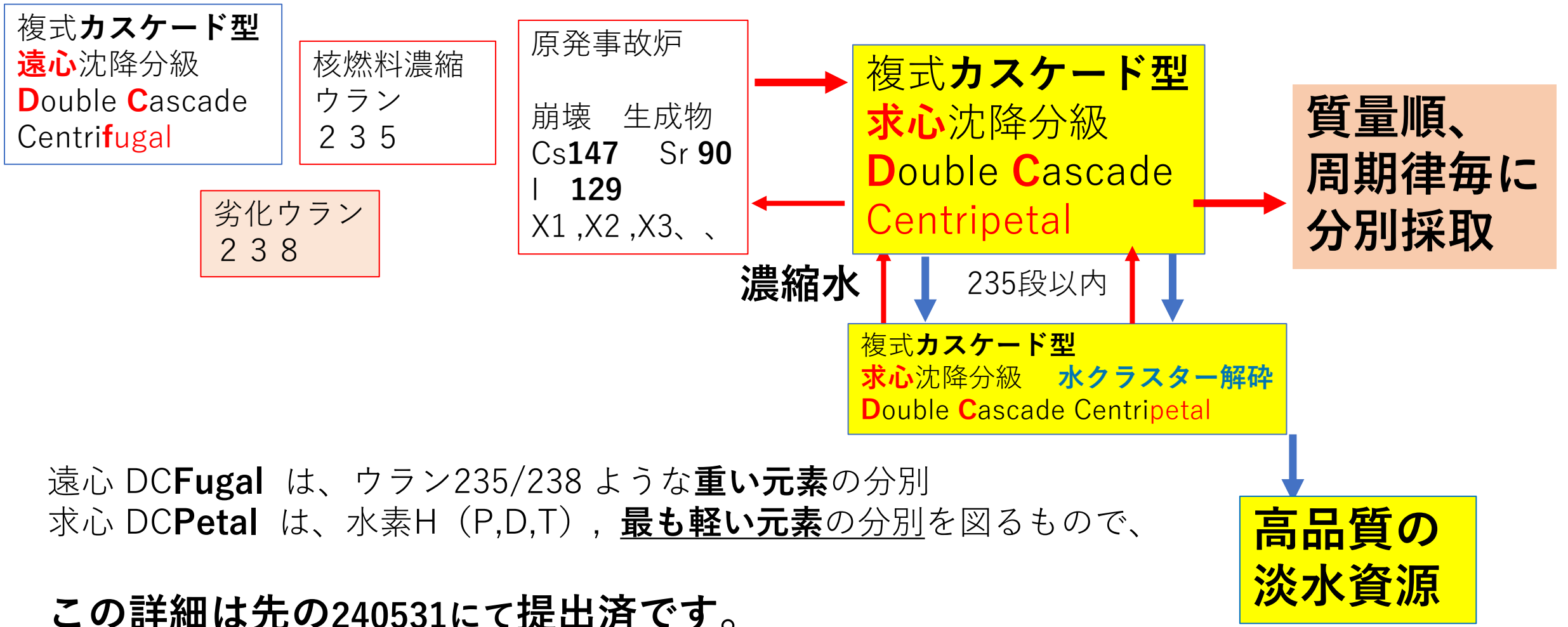
淡水処分の余力 $200 - 10 - 10 - 70 = 110\text{t/D}$
 $1,000,000 \div 110 = 9,090\text{日} = \underline{25\text{年以内に叶えます}}$

策2 ALPS処理技術を原子炉事故排水の1次処理に採用する

既得の国産技術と雇用の確保



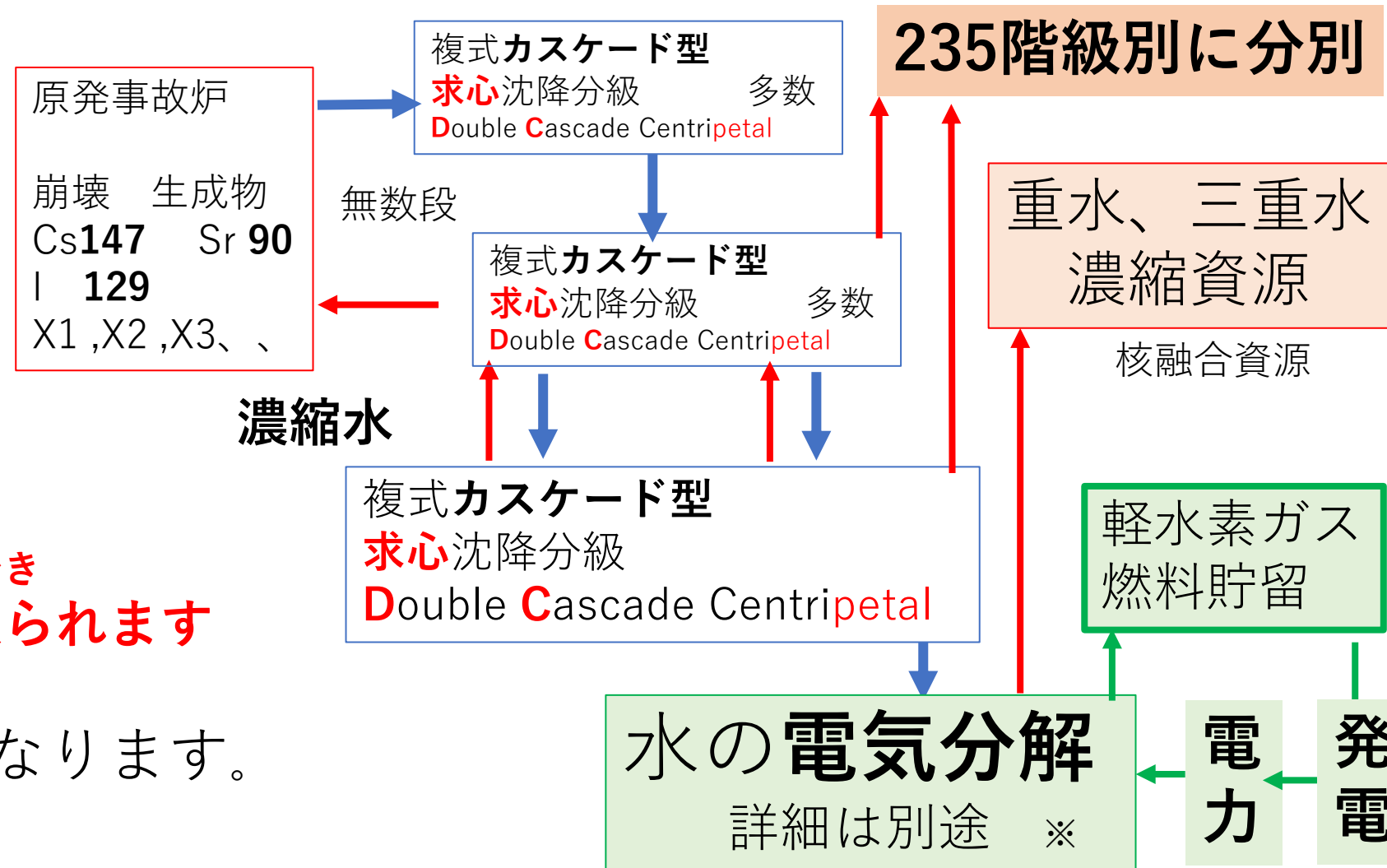
気体、液体の被処理流体の**重い成分を引き上げて、軽い成分を自然流下させる複式**で、
水質を所定の沈降速度式で管理すること、これを**無数段に繰り返す**のが特徴です



遠心 DC**Fugal** は、ウラン235/238 ような**重い元素**の分別
求心 DC**Petal** は、水素H (P,D,T) , **最も軽い元素**の分別を図るもので、

この詳細は先の240531にて提出済です。

軽水素水を選択的に電気分解して軽水素ガスを得るて 重水、三重水・トリチウム水を濃縮保管するのが合理的です



重水素D以上の元素はすべて
重量階級別に採取保管し、資源化でき
放出は軽水素ガスだけに限られます

国内外の風評が良くなります。